

阿蘇地域では、「文化的景観」の取組みを行っています。

平成 29 年 10 月 13 日に、阿蘇地域における草原をはじめとした水田、畑、森林などの美しい風景の一部が、国の文化財である「重要文化的景観」に選定されました。平成 28 年の熊本地震で、阿蘇地域も大きな被害を受けましたが、災害を乗り越え、阿蘇の素晴らしい風景と暮らしを後世に引き継いでいく取組みが始まっています。

阿蘇地域における文化的景観の取組みの「今」をお伝えする「文化的景観だより」、今回は南小国町での取組みを中心にをご紹介します！

This is 文化的景観！

これぞ文化的景観！な風景をご紹介しますコーナー



かみなかばる

<野焼き（上中原牧野）>

南小国町を特徴づける景観として、人々が長い時間をかけて野焼きなどの維持管理を努めてきた広大な草原があります。牧草地や採草地として現在も野焼きが実施され、阿蘇地域らしい草原景観が保たれています。

文化的景観をまもる・活かす取組みが始まっています！

TOPIC 1

おしといし 南小国町「NPO 法人押戸石の丘」の活動紹介

南小国町の標高 845mに位置する「押戸石の丘」。近年、阿蘇ユネスコジオパークのジオサイトとしても知名度を上げ、県内外から多くの観光客が訪れる町の主要観光スポットの一つとなっています。古くから地元の人々の手によって守られてきましたが、観光地化してきたことで、今までのような景観の保護が難

しくなるのではないかと懸念を抱いた地元の上中原牧野組合は、平成 24 年 8 月に NPO 法人「押戸石の丘」を設立しました。

観光客を受け入れるために、受付では毎日 NPO のメンバーが押戸石の説明やパンフレットの配布等を行っています。また、環境保全費として一人 200 円を徴収し、草刈りやゴミ拾い等の活動資金に充てるとともに、受付小屋を観光客との交流スペースとして利用したり、散策路に小国杉のチップを敷き、道順を示す標識を立てたりと、おもてなしのための整備も進めています。当初は駐車場や丘の上に大量にゴミが散乱していましたが、現在ではほとんどゴミがなくなり、観光客自らゴミを拾い管理人に持つてくるほどになりました。

押戸石には、ヒゴタイ、ヤマラッキョウ、トリカブト、ワレモコウなど、様々な希少植物が生息しています。NPO では、それらの植物を守っていくために、小屋に写真等を展示し、啓発に努めています。平成 26 年には NPO 役員が講師となり、町内の中学 3 年生を対象に「草泊まり」を制作する自然学習会を行い、昔の牧畜農家が家族一人一人役割を担っていたことについて理解を深めました。今後も、この風景や文化を守るための活動が期待されます。



押戸石の丘



NPOにより整備された散策路

TOPIC 2

阿蘇郡市 7 市町村の担当者勉強会を開催しました！ —「四万十川流域の文化的景観」の事例に学ぶ—

阿蘇郡市 7 市町村では、定期的に市町村の文化的景観担当者の勉強会を開催しています。1 月 22 日(月)には、阿蘇と同じく広域連携による文化的景観の取り組みを行っている高知県四万十川流域から、四万十市教育委員会の川村係長と(公財)四万十川財団の神田事務局長を招聘し、お話を伺いました。

後半は、これからの広域連携に向けた課題を話し合い、講師のお二人からアドバイスをいただきました。今後も、具体的な取組みの実施に向け、勉強会を続けていきます。



お問い合わせ先

【各市町村窓口】

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| ・阿蘇市 0967-22-3229 (教育委員会) | ・南小国町 0967-42-0047 (教育委員会) |
| ・小国町 0967-46-3317 (教育委員会) | ・産山村 0967-25-2214 (教育委員会) |
| ・高森町 0967-62-1111 (教育委員会) | ・南阿蘇村 0967-67-1602 (教育委員会) |
| ・西原村 096-279-4424 (教育委員会) | |

阿蘇郡市世界文化遺産登録事業推進協議会事務局
(阿蘇世界文化遺産推進室)

〒869-2221 熊本県阿蘇市役犬原 805 TEL: 0967-34-1643 <http://www.asosekaibunkaisan.com>

阿蘇 世界文化遺産

